

北海道浮魚ニュース

令和 7(2025)年度 5 号

2025 年 6 月 23 日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html

◎6 月浮魚類分布調査

調査時点では浮魚類の魚探反応量は極めて低水準
マイワシの本格的な来遊は例年より遅れる予想

ロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業等へ漁場情報を提供するため、調査を実施したので結果をお知らせします。

- ・ 調査期間：2025 年 6 月 11～18 日
- ・ 調査方法：計量魚群探知機および全周ソナーによる魚探反応量の計測
CTD、XCTD による海洋観測
NEAR-GOOS*表面水温（6 月中旬および 2025 年 6 月 15 日）の解析
表層トロールによる漁獲試験
※NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース
http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rtrdb/data_usage_J.html
- ・ 調査海域：道東太平洋海域

1. 水温分布（図 1）

2025 年 6 月中旬の道東沖は過去 3 年の同時期と比べて沿岸親潮の勢力が強めとなっています。沖合には北緯 42 度、東経 145 度付近を中心とした暖水塊があり、この水塊の西側には、比較的暖かい水が南西から北東方向へ張り出しています。表面水温は過去 3 年の同時期と比べて 2℃～3℃低めとなっています。

2. 計量魚探調査（図 1）

2025 年 6 月調査では浮魚と思われる反応量は極めて低水準でした。計量魚群探知機の平均反応量は 82 m^2/nmi^2 で、過去 3 年の 6 月調査（2024 年：1,794 m^2/nmi^2 、2023 年：1,760 m^2/nmi^2 、2022 年：1,478 m^2/nmi^2 ）と比べ非常に低い値でした。調査中、夜間には灯火光に集まる魚群の目視観測を実施しましたが、イワシ類・サバ類と思われる魚群は見つかりませんでした。

なお、当初の計画では表層トロールによる漁獲調査を予定していましたが、荒天のため実施できませんでした。

本調査の最終日（6 月 18 日）に、釧路港および十勝港へまき網によるマイワシの今季初水揚げがありました。調査ではイワシ類の分布を確認できませんでしたが、今後マイワシの来遊が本格化することが予想されます。

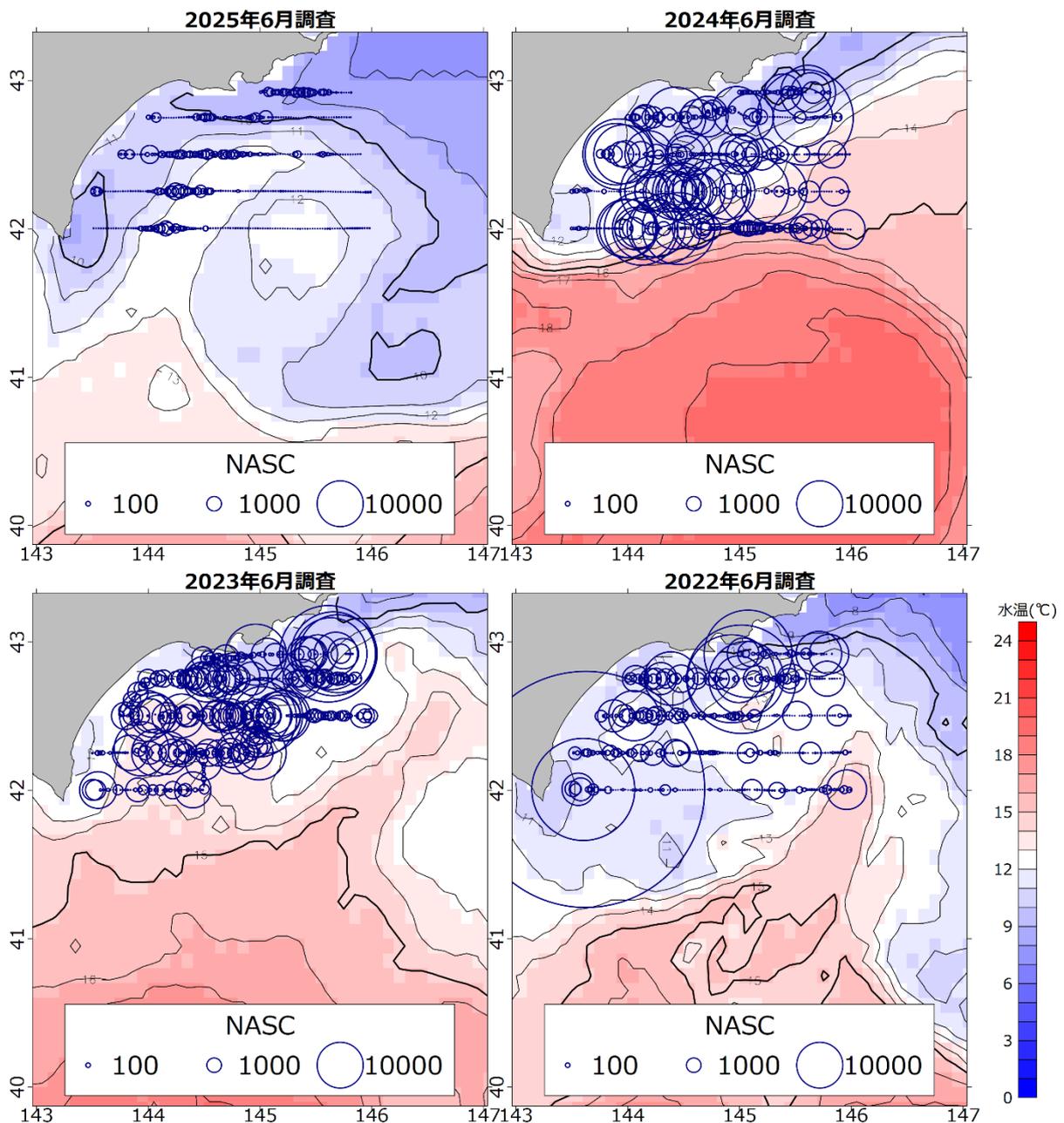


図1 2022年～2025年の6月調査における計量魚群探知機の魚探反応量と表面水温
 (表面水温：NEAR-GOOS 表面水温6月中旬平均値(2025年のみ6月15日の水温を使用)、
 NASC：1平方マイルあたりの魚探反応量)

※本調査は水産資源調査・評価推進委託事業により実施しました。

北辰丸 海洋観測速報 (試験運用中) <https://hro-fish.net/hokushin/>
 (釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。)

お問い合わせ先：釧路水産試験場調査研究部、[TEL:0154-23-6222](tel:0154-23-6222)
[FAX:0154-23-6225](tel:0154-23-6225)